



Q 巢子新駅の拡張計画は

川原 清 議員

A 拡張の計画は今はない



▲工事が進む巢子新駅

Q1

巢子新駅問題は、昨年3月定例会で駅予定地が地上げの対象になつてからの発言以来、定例会ごとにこの問題がとり上げられ、県議会2月定例会でも農地法に係わる問題がとり上げられ多くの方が注目している。①これまで3回の住民監査請求が出されており、その監査結果報告で村に対して「新駅の建設にあつて場所決定や街づくり事業を巡つて一部混乱が見られた。公共事業の執行にあつては説明責任と行政情報の透明化につとめよ」との勧告がなされたがこれをどう受けとめているか。

②駅へのアクセス道工事が遅れているようにだが見通しはたつているのか。
③新駅にかかる工事の入札が不調に終わり、3回目に設計額に対し8,300万円も上乗せして落札している。県議会答弁では負担は村・県と協議するとしているが村の負担はあるのか。
④用地費として1億2,400万円が計上されていたがその使用状況と今後駅前広場や駐車場等の拡張予定はあるのか。

A1

①住民参画方式を取り入れて説明に努めたつもりでしたが、予算の変更など説明が不足していたことは否めません。勧告は真摯に受け止めて適正な事業遂行に努めます。

②アクセス道は、用地の取得は90%の契約を終えております。

③予算超過分の8,300万円の負担についてはIGRで負担することに決定しており本村の負担はありません。

④巢子駅線の一部を除き駐車場、駐輪場、駅舎用地は買収を終えています。今後の拡張は考えておりません。駅前周辺における新たな施設の拡張は考えていません。

新住居表示の実現を

Q2

住居表示が入り組んでいて救急車などを呼ぶときに目印がなくて困る場合がある。新住居表示の実現を望む。

A2

庁内にプロジェクトを設置して研究しているが、今後も土地の異動が想定され、現状での実施は難しいと考えます。